

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	大磯城山公園		
所在地	大磯町西小磯・国府本郷		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/ooisojoyama/index.html		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和62年4月)		
指定管理者名	神奈川県公園協会・湘南造園グループ		
指定期間	R4.4.1～R9.3.31 (2022年)(2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (平塚土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況の評価はB、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとなった。 利用状況について、広報活動の充実や、快適な環境作りを徹底し更なる利用者の増加に努めてほしい。 収支状況について、収支額の増が見受けられることからより計画的な執行を心がけるように努めてほしい。 運営管理を徹底しつつ、今後も邸園文化の香る魅力あふれる公園づくりを行い、公園の魅力を広める維持管理を行ってほしい。
<各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 「地域とともに、邸園文化の魅力の発信、おもてなし」をテーマとして掲げ、様々な主体や地域資源と交流連携しながら、地域の活性化や観光振興に積極的に関与し、地域に貢献していく公園づくりに向け、適切な公園の運営管理を行っている。 ◆利用状況 令和5年度において、利用者数が目標達成率87.9%となり、B評価となった。前年度対比では梅の開花時期に悪天候だったこと等の理由で、利用者数が89.6%となっている。今後更なる広報活動などにより対応することを検討している。 ◆利用者の満足度 9月と2月に実施し、上位2段階の回答割合が99.1%となったためS評価となった。 ◆収支状況 人件費を理由とした支出の増があった。収支差額は、令和5年度はマイナスとなり、収支比率が96.4%となったためB評価となった。収支差額がマイナスとなった理由は、駐車場収入の減や、人件費の増加によるものである。 ◆苦情・要望等 指定管理者に起因する苦情や要望は寄せられなかった。 ◆事故・不祥事等 指定管理者に起因する事故・不祥事は生じなかった。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はなかった。 ◆その他 令和5年度の3項目評価についてはA評価とした。利用者の満足度がS評価と、誰もが安心・安全・快適に利用できるようなコミュニケーションを図っている。利用状況の目標達成率達成率のためにより魅力的な利用環境の提供を進めてもらいたい。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の 満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。 S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
A	B	S	B	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された報告書の内容と現地状況を確認した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	公園管理事務所で、月例報告や地元等の要望及び施設改修・修繕の課題や調整事項について意見交換を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
邸園文化の香る魅力あふれる公園づくり	旧吉田茂邸区域の「バラ園」では、見ごろの時期に専門家を講師に迎える実技講習会があり、新たな魅力づくりを実施した。	今後も継続することが望まれる。
交流と連携による地域活性化と湘南の邸園文化の発信	地域と連携した事業として・園内の展望台からダイヤモンド富士を楽しむイベントを実施した。来園者のため駐車場の開放時間を延長した。	今後も継続することが望まれる。
地域を支える災害への備えと安全快適な公園づくり	長寿命化計画を基本に、施設の長寿命化と安全を最優先とした維持管理を実施したほか、不動池周辺については、水路や池の落葉の清掃、クモの巣の除去などを実施し、美観の向上を図った。	今後も継続することが望まれる。
公園の資源を積極的に活用した利用促進	庭園の専門家を招き、日本庭園への理解を深める勉強会を開催予定であったが、講師の体調不良により中止した。	やむなく中止となったが、引き続き、勉強会を実施することが望まれる。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
茶室の管理運営	利用者へのサービス向上のため、茶室「城山庵」に併設した休憩室で季節の和菓子や地産品を提供するなど、利用促進に努めた。
管理休憩棟の管理運営	利用者へのサービス向上のため、本公園や吉田茂に因んだハガキや茶葉、周辺福祉施設等と連携した菓子などを販売し、利用促進に努めた。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上　A：100%以上～110%未満　B：85%以上～100%未満　C：85%未満
B	※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	287,431	298,320	267,230
対前年度比		103.8%	89.6%
目標値	324,300	324,300	303,932
目標達成率	88.6%	92.0%	87.9%

目標値の設定根拠：	提案書記載目標値
利用者数の算出方法（対象）：	センサーによるカウント及び駐車台数、 団体申込人数より推定

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備 考>

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易アンケートは通年、 詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、年2回実施する詳細アンケート調査の結果を使用する。 上位二段階の割合（95.0%）は、前年度（95.5%）と変化なく、依然として満足度は高い。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 209 / 209 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	163	44	2	0	0	209	きれい、丁寧、清潔
回答率	78.0%	21.1%	1.0%	0.0%	0.0%		
前年度の 回答数	91	42	7	0	0	140	
前年度回答率	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%		
回答率の 対前年度比	120.0%	70.2%	19.1%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備 考>

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務] (単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	86,544	0	5,166	駐車場:4,804 自販機: 362	91,710	91,710	0	
	決算	86,544	0	4,576	駐車場:4,244 自販機: 332	91,120	90,894	226	100.25%
前年度	当初予算	89,000	0	5,350	駐車場:4,900 自販機: 450	94,350	94,350	0	
	決算	89,000	0	4,858	駐車場:4,434 自販機: 424	93,858	93,476	382	100.41%
令和5年度	当初予算	89,000	0	5,350	駐車場:4,900 自販機: 450	94,350	94,350	0	
	決算	89,000	0	4,259	駐車場:3,839 自販機: 420	93,259	96,720	-3,461	96.42%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数	(単位：千円)
令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /	

<備考>

9. 苦情・要望等 ☒ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。